

# 生命・自然 科学コース

(大学コンソーシアム連携講座)

講座コーディネーター

上越教育大学大学院学校教育研究科 教授  
藤岡 達也

# 環境共生

—さまざまな視点から、持続可能な社会の構築を考える—

## 趣 旨

2011年3月に発生した東日本大震災は、その甚大な被害とともに、私たちの日常の暮らしを根底から大きく揺るがしました。本講座では、「環境との共生」を主なテーマに掲げ、これからの自然と人間、人間と人間(社会)、科学技術と社会をとらえなおす機会として、また、安全・安心なまちづくりや生活のため、さまざまな視点から持続可能な社会の構築について考えていきます。

## 学習方法

講義 ※後期ゼミナールは実施しません。

## 受講料

10,000円

## 連携先

高等教育コンソーシアムにいがた

プログラム・指導講師

金曜日 午後7時～9時

回/月日	テーマ	内 容	講 師
第1回 9/21	今、「自然と人間」、「科学技術と社会」をどう考えるか	身近な自然環境、歴史景観から科学技術と社会との関係まで取り上げ、持続可能な社会を目指すまちづくりと生活を考えます。	上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授 藤岡 達也
第2回 9/28	佐潟とまちづくり	ラムサール条約湿地「佐潟」ならびに周辺の歴史建造物を保全し、その恵みをいかしてまちづくりを行う人々の活動を学びます。	新潟国際情報大学 情報文化学部 准教授 小宮山 智志
第3回 10/5	東日本大震災とその復興 —環境工学の観点から—	震災後一年が経った今でも、復興の道はまだまだ途上にあります。震災で何が起き、復興に何が必要かを環境工学の見地から学習します。	新潟薬科大学 応用生命科学部 助教 小瀬 知洋
第4回 10/12	環境と経済	経済発展と環境改善という二律背反する課題を、いかに克服し未来につなげていくか、具体例を挙げて参加者と一緒に考えます。	敬和学園大学 人文学部 教授 房 文慧
第5回 10/26	水とダイヤモンドの パラドックス	生存に必要な不可欠な水は、そうではない宝石に比べ非常に安価です。環境問題の解決を難しくする原因を学習します。	新潟産業大学 経済学部 准教授 阿部 雅明
第6回 11/2	社会の環境ニーズと自動車の 持つ楽しさや利便性の共存	ハイブリッドや電気自動車などの次世代自動車の環境性能をベースに、移動手段として持続可能な自動車の姿を考えます。	新潟工業短期大学 自動車工業科 教授 小宮 孝司
第7回 11/9	都市気候の視点から考える 環境共生型街づくり	海や河川、水田などの新潟の自然や気候風土をいかした環境共生型の街づくりについて、都市環境工学の視点から考えます。	新潟工科大学 工学部 教授 富永 禎秀
第8回 11/16	新潟の町並みに迷い込む	歴史的な町並みはどのように造られたのか？町並みの統一感とは何か？町に共生するとは？皆様と歴史の町並みを探訪します。	長岡造形大学 造形学部 教授 平山 育男
第9回 11/30	住民参加活動を通じた 地域コミュニティの 構築に向けて	地域コミュニティ形成の一つの方法である「住民参加活動」を通して、その構築をどのように行っていけばよいのかを考えます。	新潟医療福祉大学 社会福祉学部 准教授 渡邊 敏文
第10回 12/7	地域環境の継承	災害、環境破壊、過疎化、経済のグローバル化等による地域崩壊現象に対し、住民の意識に働きかける地域環境の継承方法を考えます。	新潟県立大学 国際地域学部 教授 山中 知彦